

# 立花学園 関東大会出場 No.2

立花学園が4月に行われた大会で優秀な成績を収めました。



女子団体として初出場

女子卓球部



初の県ベスト4

エースの活躍とチーム力の強化が過去最高成績に

今回の結果について、石川先生は、全員に実力がついて選手層が厚くなり、チームとして安定感が生まれたことを挙げていました。「実力がついて、部内で競争が生まれた。部内でも外でも勝ち切る安定感が全員についた。格下には絶対負けず、格上にも勝つといふこだわりが出てきたのが結果につながったのではないか。」と話していました。また、エースの宮本さんの活躍も大きく、前半で確実に勝ちを取ることができたことも大きかったそうです。

顔ぶれが変わらなかつた県上位4校に風穴を開けた立花学園卓球部。男子と練習することで強豪校に力負けしない実力をつけて、女子卓球部初の関東大会1勝を目標に進んでいきます。

短所を克服し、攻守においてバリエーションを

過去の成績を超えるために、練習に変化を加えました。これまで長所を伸ばし、長所で闘うこと得意としていました。短所を克服し、いろいろな技術を習得したことで攻撃・守備においてバリエーションが増え、さまざまなタイプの相手に対応できるようになりました。また、短所を克服するための練習は選手のモチベーションが下がりやすいところですが、選手たちも一生懸命練習に取り組み、今回の結果につながったことで、選手も先生も自信につながりました。

**野球部**

## 全国高校野球選手権神奈川大会 創部初の県ベスト4!!

志賀監督に  
お話を伺いました。

野球部

今大会の感想は?

選手が試合ごとに成長できた大会でした。

1点差の勝利やサヨナラ勝ちが選手を本気にさせ、1試合ごとに選手が成長できました。秋以降自分たちでチームを運営していくことができ「今日が一番下手くそな日だし、今日が一番未熟な日だから過去はどうでもいい。それを受け入れて今までの歴史を過剰に背負うことなく、野球少年のように野球を楽しむ、今ある力を発揮することが大事だと選手に話してきました。それらを体現できたのが、今回の結果ではないかと思います。



**今後の目標**

「神奈川の頂点」。選手の特性を活かし、全員が戦力として活躍するチームで「神奈川の頂点」を目指して頑張ります。

あると感じました。チームが目指しているのは「神奈川の頂点」。ベスト4は、通常点であって「ベスト4の壁を超える」といふのはおかしいと選手たちに話してきました。自分たちができることをしっかりとやり続ければ、自然と勝てるはずです」と話しています。また、「ベスト4の壁」というこれをやることをやろう」ということを愚直にやることができました。

準決勝は、準決勝だからなのか、横浜スタジアムだからのか、自分たちがやれることをコントロールできず、浮足立ったのが勝敗を分けたと思います。経験不足もあるかもしませんが、超えられない壁ではないと感じました。あと2勝で甲子園という今まで以上に頂上が見えましたが、頂上に近づくほど、丁寧にやる必要があります。